



大分県議会議員 2023年 秋号
県民クラブ会報「県民ひろば」別府市版

原田たかし 会報

教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、
高齢者の方々が「長生きしてよかった」と
思える社会を実現するために。

大分県議会議員 原田 孝司

発行責任者：大分県議会・県民クラブ 原田孝司

連絡先：別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所 TEL・FAX 0977(25)0011 E-Mail harada@ctb.ne.jp

佐藤樹一郎知事「原形復旧はもとより、再度災害防止に向けた機能強化を図る」

大分県議会 2023年 第3回定例会 行われる

9月19日(火)から10月4日(水)にかけて大分県議会2023年第3回定例会が開催されました。

本年6～7月に県内を襲った大雨による災害復旧費101億2,823万千円を盛り込んだ総額192億2,450万円の一般会計補正予算案など21議案が上程されました。(本年度の累計は総額7,438億3,550万円)

【新たな事業は本会報2面に掲載しています】

県北部と西部を中心に被災した河川や道路、漁港などの本格的な復旧・復興に着手するとともに、一部の河川は再発防止に向けて改良工事も進められます。

佐藤樹一郎知事は提案理由説明で「災害復旧では、原形復旧はもとより再度災害防止に向けた機能強化を図っていきたい。また、新たな行財政改革計画についても策定を進め、確固たる行財政基盤の構築に努めていきたい。」と述べています。

また、最低賃金が県地方最低賃金審議会の答申通り、現行から45円引き上げ899円となったことが報告され、「県として企業の生産性向上や原材料費や燃料費等の上昇分を適切に価格転嫁できる環境づくりを支援する。」と述べています。

最終日の採決では全て可決されました。

ホーバークラフト 「Baïen(バイエン)」 到着

大分空港(国東市)と大分市とのアクセス改善のために県が導入したホーバークラフトの1番船「Baïen(バイエン)」【座席数80】が納入されました。大分市～空港を最短約30分で結ぶ計画で、ホーバーの定期路線はアジアで唯一です。来春の運航開始を目指して操縦士の訓練が始まるとのことです。大分の先哲の名前を冠した2番船「Banri(バンリ)」、3番船「Tanso(タンソ)」ももうすぐやってきます。



「Baïen(バイエン)」の納入式(2023.9.9)

県民クラブから2本の意見書案を提出

今定例会では、県民クラブから「陸上自衛隊大分屯地に新設する火薬庫への長距離射程ミサイルの保管に反対する意見書(案)」と、「健康保険証の存続を求める意見書(案)」の2本の意見書案を提出しました。

大分市数戸にある大分分屯地の火薬庫増設計画により、「有事の際に攻撃対象となる可能性」や「火災や事故の際の被害範囲の拡大の危険性」が高まるのではないかと地域の方々の不安の声を受け止め提出しました。

また、マイナンバーカードを健康保険証として利用することは否定しませんが、マイナンバーカードの運用トラブルが続々と報告される中で、システムの総点検を行うとともに、これまでの健康保険証も存続すべだと考え意見書案を提出しました。

残念ながら2本とも賛成少数で否決されましたが、大事なことはこれからも言い続けます。

折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。
背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。

